# 富山県済生会富山病院移動型Ｘ線撮影装置仕様書

1. 件　　名　　移動型Ｘ線撮影装置の整備について

2. 納入場所　　富山県富山市楠木33番地１　富山県済生会富山病院　手術室

3. 納入期限　　契約締結日から令和９年３月31日まで

4. 調達物品の数量及び構成
   調達物品　移動型Ｘ線撮影装置　１式

5. 仕様詳細
   「別紙1」参照

6. 落札者は、業務遂行上個人情報を取り扱う際は個人情報保護法等の関連法令を遵守しなければならない。また、業務遂行上知り得た個人情報・秘密を他人に漏らしてはならない。この義務は、本契約の終了後も継続するものとする。

7. その他
   （１）保証期間
   通常の使用により故障した場合に限り、納入検査終了後１年間は保証期間として落札者は無償修理に応じること。
   （２）納入作業は、病院の医療業務を考慮のうえ充分注意して行うものとする。
   （３）納入にあたっては落札者が責任をもって行い、事故等に関して病院は一切責任を負わないため充分に注意するものとする。
   （４）落札者は物品の取扱いに注意し、事故又は過失により損傷した場合はそれを補償する。
   （５）落札者は物品設置の際に点検・調整及び試運転を行い、病院に充分説明の後引き渡すものとする。
   （６）納入作業中に発生した廃棄物は落札者の責任で適正に処理すること
   （７）落札者は病院に対し、操作に必要な取り扱い説明、教育支援を行い、円滑に使用ができる状態とすること
   （８）落札者は、納入物品に不具合が生じた場合、代替機器を速やかに準備できる体制をとっていること。

（９）入札金額には、搬入、装置据付に要する一切の費用を含めること。

（１０）当院が採用している電子カルテシステム（株式会社ソフトウェア・サービス製）と移動型Ｘ線撮影装置とのシステム連携を実施し、正常に動作すること。また、連携に必要な機器、ソフトウェア、設定、調整及び連携に要する一切の費用を含めること。

（１１）既設機器の撤去及び廃棄費用は、落札者の負担とすること。また、廃棄処分完了後は、産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しを病院に提出すること。

（１２）落札者は、本仕様の内容、解釈及び明記のない事項について疑義が生じた場合は、病院と協議し決定すること。

8. 担当者

富山県済生会富山病院　用度課　牧田
TEL　076-437-1111
e-mail　k-makita@saiseikai-toyama.jp

別紙 1

回診用 X 線撮影装置は、以下の要件を満たすこと。

1、高電圧発生装置は以下の要件をみたすこと。

1-1 制御方式はインバータ方式であること。

1-2 公称最大電力は 12.5kW 以上であること。

1-3 管電圧調整範囲は 40~125ｋV 以上とし、ステップ幅は 1kV 以内であること。

1-4 最大管電流は 160ｍA 以上であること。

1-5 管電流時間積は 0.32~320mAs で設定が可能であること

2、X 線管球および X 線管球保持機構は以下の要件を満たすこと。

2-1 X 線管の焦点サイズは 0.7mm 以下であること。

2-2 X 線管球の最大陽極熱容量は 140kHU 以上であること。

2-3 焦点の上下移動範囲は、床面から 68~202cm の範囲を有すること。

2-4 支柱回転範囲は±270 度以上であること。

2-5 X 線管球回転角度は±180 度以上であること。

2-6 X 線管装置管軸まわり回転角度は 120 度以上であること。

2-7 アームの長さは最大 1200mm であること

2-8 保持アームに撮影状態を示す表示灯を有すること。

2-9 アームロックを一度に解除するオールフリースイッチを搭載し、片手での操作が可能であること。

2-10 照射野ランプは、LED を採用していること。

3、本体、その他は以下の要件を満たすこと

3-1 装置サイズは全幅 56cm 以下であること。

3-2 重量は 520kg 以下であること。

3-3 支柱の高さは 1290mm 以下であること。

3-4 電動による駆動方式であること。

3-5 ブレーキ方式は走行ハンドルを握るとブレーキが解除されるデッドマン方式であること。

3-6 装置の前方に自動停止バンパーを有し、障害物に衝突した際に自動的に駆動回路が遮断される機能を有すること。

3-7 コリメータでの本体移動操作が可能であり、背面に照射野調整つまみ及び照射野ランプ点灯スイッチを有すること。

3-8 計算または実測の面積線量計を本体に表示できること。

3-9 ワイヤレススイッチ等のオプションがある場合は見積一式に含めること。なお、メーカーの使用上、当該オプション設定がない場合はこの限りではない。

3-10 17×17 インチサイズの FPD が装置幅からはみ出すことなく収納できること。

別紙1

3-11 画像処理装置は本体と一体型または既存の画像処理装置(コニカミノルタ社製 CS-7)を本体装置に移設・組み込みの上、走行および撮影と連動するシステムとすること。

3-12 CS-7 の移設・組み込み・ライセンス設定に伴う作業および調整費用は、導入施行費用に含めること。

3-13 CS-7 を移設する場合は CS 7 が本体に固定された状態にすること。

3-14 院内有線 LAN を介して、ワークリストの取得および PACS への画像転送が可能であること。